

～情報システムの抜本的コスト削減～ 業務アプリケーション最適化 アセスメントサービス

CATALOG

ビジネス環境とIT環境が急激に変化し、ITがビジネスに対して中核的な役割を果たしています。

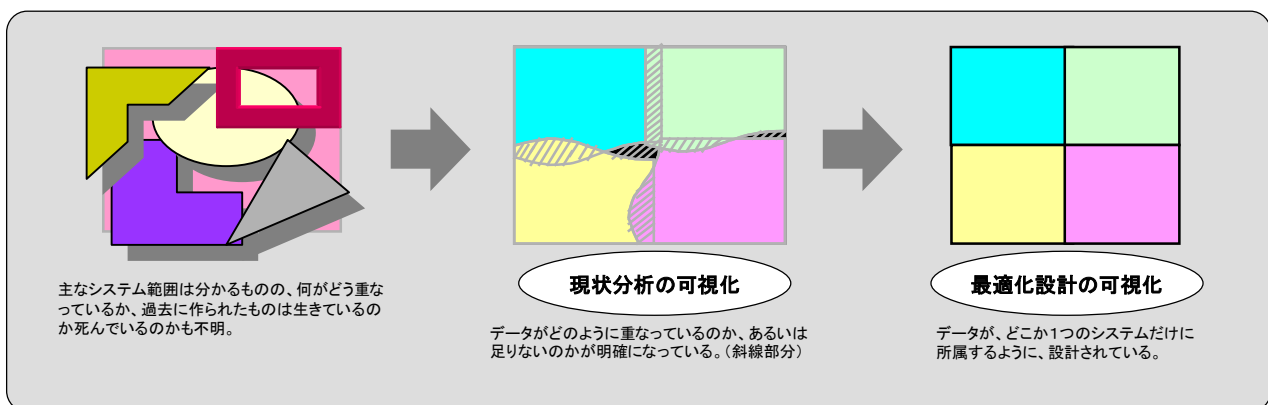
しかし一方では、今まで部分最適を追求して開発され、度重なる変更で複雑肥大化したシステムは、ビジネスの変化にタイムリーに追随することができず、保守コストの削減も一向に進まないという問題を抱えています。

このような中で、情報システムはどのように整備しビジネスと連携させるかという課題の解決に寄与するものとして、現在EA(Enterprise Architecture)が注目されています。

EAの最大の狙いは、情報システムの全体最適化によるコストダウンと変化対応力の強化です。EAによって企業情報システムの実態が常時可視化されます。その必要性和効果は多面的かつ長期的です。

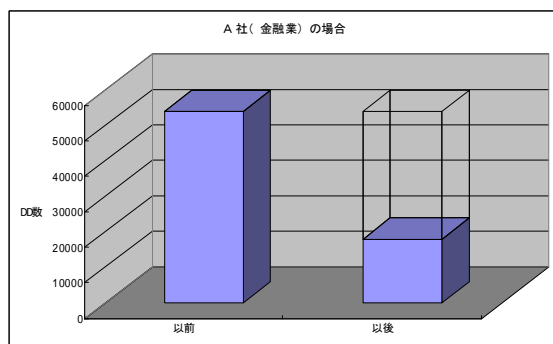
本サービスは、EAの手法を使った業務アプリケーションの最適化に関するアセスメントサービスです。

業務アプリケーションの最適化とは重複・隙間を無くすこと



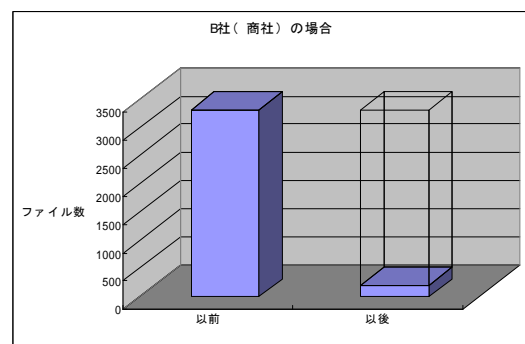
重複の排除 = コストダウン

例1) 54,000データが、18,000に



67%削減

例2) 3,300ファイルが、200に

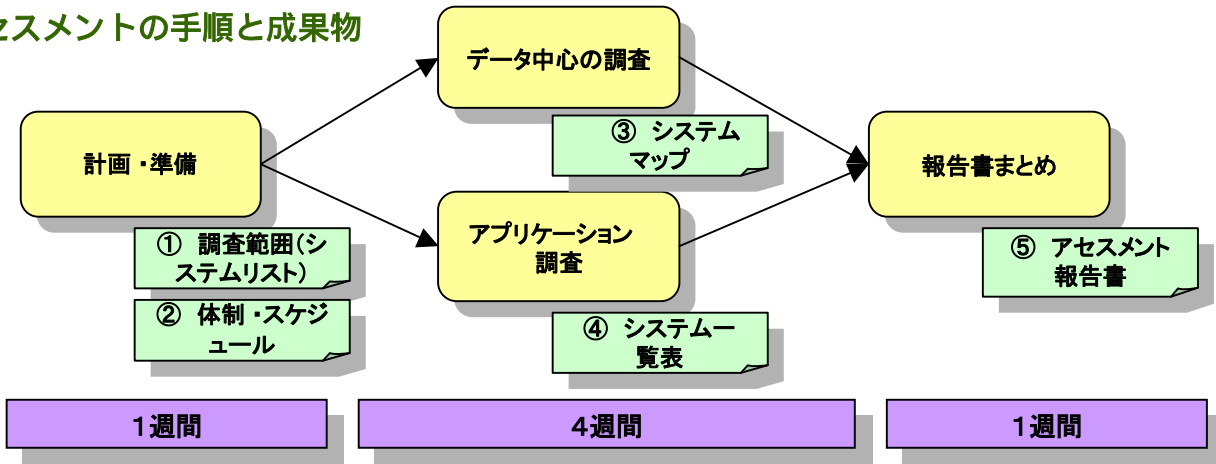


94%削減

調査: DRI

6週間で業務アプリケーション最適化の方向性を提示します！

アセスメントの手順と成果物



システムマップでデータと業務システムの問題点を洗い出します。

標準的なエンティティを事前に提供し、調査を効率的に行います。

データ種類	事業							
	事業一	A事業	B事業	C事業				
大分類	中分類	小分類	業務システム	更新	業務システム	更新	業務システム	更新
内部組織	拠点							
	関連会社							
	従業員							
	その他内部組織							
外部組織	法人顧客・個人顧客							
	社外拠点							
	仕入先・業者		購買システム		輸入システム			
	銀行・支店・口座							
物	その他外部組織							
	材料・仕掛品		購買システム		輸入システム			
	部品・製品							
	BOM(部品構成表)							
その他物								

着眼点ノウハウを事前に用意し、要領よく分析を進めます。

複数のシステムで類似したデータ管理をしている事がわかります。

業務間でのデータ連携の不備が見えます。

システム化されている領域と非システム化領域の俯瞰ができます。

システム一覧で業務システムの概要構成を把握し、ビジネスとITの不整合な個所を掴みます。

④ システム一覧表

システム	サーバ	DBMS	OS
10 購買システム	HP x x、リース切れ時期:2005.1	Oracle9.1.4	UNIX Ver x x
20 輸入システム	SUN、リース切れ時期:2005.7	DB2	UNIX Ver OO
...			

・古い技術が使われている、バラバラに技術を導入しているなど、ITとビジネスの不整合問題を発見することができます
・リース切れの時期なども把握して、移行計画に反映させます。

⑤ アセスメント報告書

- 業務アプリケーション最適化による効果
 - データ重複と不整合の状況とEAによる改善
 - データ連携不備の状況とEAによる改善
 - ビジネスとIT不整合の度合とEAによる改善
- 今後の進め方
 - EAの策定プロセス
 - 主要成果物および留意点(細かさ等)

価格:300~500万円

お問合せ先: 株式会社データ総研 営業担当 TEL: 03-5695-1651 / E-Mail: crm@drinet.co.jp